

音楽科学習指導案

日 時 令和元年 12 月 10 日 (火) 4 教時
生 徒 北斗市立大野中学校 2 年 B 組 27 名
授業者 教諭 三笠 裕也

1 題材名 オリジナルの歌詞にメロディーをつけよう

2 題材について

(1) 題材についての指導観

本題材は、表現したいイメージをもって、コードが生み出す曲の雰囲気を感じながら、順次進行、跳躍進行など音のつながり方の特徴を生かした旋律づくりや、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫した音楽をつくる。言葉のリズムや抑揚、伴奏の和音を手がかりにして歌をつくっていくが、歌詞は 1 小節 8 文字以内に限定し、8 分音符で無理なくリズムをつくれるようにする。8 文字以内の言葉を 8 個つなげた文章であれば、生徒がつくったオリジナルの歌詞でも、絵本や詩の一部を使用してもよい。

協働的な学習によって学習が深められるよう、個人で創作した後、生徒の工夫した点等をクラス全体で共有し、個人の作品に工夫を加える場面を設定した。生徒にとって身近なボーカロイド教材を用いることにより、関心・意欲を高め、自分の表現したいイメージを音楽で表すことの楽しさや喜びを味わわせるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割を感じ取らせたい。これが、音楽と人間との深い関わりを実感し、音楽文化についての興味や理解を深めることにつながると考える。

(2) 本題材に関連する学習指導要領の指導内容 (第 2 学年)

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること。

イ 次の (ア) 及び (イ) について、表したいイメージと関わらせて理解すること

(ア) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴

(イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴

ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。

○内容の取扱いと指導上の配慮事項

(1) 各学年の「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

エ 生徒が様々な感覚を関連付けて音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるようにするため、コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること。

オ 生徒が学校内及び公共施設などの学校外における音楽活動とのつながりを意識できるようにするなど、生徒や学校、地域の実態に応じ、**生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と主体的に関わっていくことができるよう配慮すること。**

(7) 各学年の「A表現」の(3)の創作の指導に当たっては、**即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験を重視すること。**その際、**理論に偏らないようにするとともに、必要に応じて作品を記録する方法を工夫させること。**

(3) 題材で主に扱う音楽を形づくっている要素及び用語や記号など

ア 旋律、構成

イ 音階、コード、和音、モチーフ

3 題材の評価基準

(1) 現行の評価の観点による設定

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
①ボーカロイド教育版を使って創作活動に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】	①コード進行及び音のつながり方の特徴、反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。【観察、ワークシート】	①創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなど技能を身に付けている。【ワークシート、保存楽譜(データ)】
②コード進行及び音のつながり方の特徴と表したいイメージとの関わり、反復、変化、対照などの構成と全体のまとまりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】	②旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている【観察、ワークシート】	

(2) 新しい評価の観点による設定例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①コード進行及び音のつながり方の特徴、反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>②旋律や音楽を作るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなど技能を身に付けている。【ワークシート、保存楽譜(データ)】</p>	<p>①旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている【観察、ワークシート】</p>	<p>①ボーカロイド教育版を使って創作活動に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】</p> <p>②コード進行及び音のつながり方の特徴と表したいイメージとの関わり、反復、変化、対照などの構成と全体のまとまりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】</p>

4 単元の指導と評価の計画

(1) 単元における学習課題

身近なポピュラー音楽には、たくさんの種類があります。特に日本で開発された VOCALOID(ボーカロイド、略してボカロ)は、今や世界中で人気の音楽です。今回、ボーカロイド教育版を使って、自分で作ったオリジナルの歌詞にメロディーをつけ歌をつくり、世界に一つしかない「ボカロ・マイソング」をみんなに発表しましょう。

(2) ループリック

		I 創作に関すること (知識・技能に関すること)			II 発表に関すること (思考・判断・表現に関すること)
	①知識	②技能 (言葉のリズム)	③技能 (和音)	④技能 (その他)	
A	コード進行、音のつながり方の特徴、反復、変化、対照の5つすべての特徴について理解している。	1小節に8文字以内の言葉で、8小節すべて構成されている。	8小節すべて和音のコード進行でつくられている。	表したいイメージを旋律のつながり、反復、変化、対照を用いてつくられている。	作品に対する想いや意図を、音楽の構造や音楽の要素を用いて、具体的に発表することができる。
B	コード進行、音のつながり方の特徴、反復、変化、対照のうち3つ以上の特徴について理解している。	1小節に8文字以内の言葉で、8小節中4小節以上構成されている。	8小節のうち4小節以上、和音のコード進行でつくられている。	表したいイメージを旋律のつながり、反復、変化、対照を用いてつくろうとしているが、効果的に用いられてつくられていない。	作品に対する想いや意図を、音楽の構造や音楽の要素を用いて、発表しているが、具体的な根拠が明確に示されていない。
C	コード進行、音のつながり方の特徴、反復、変化、対照のうち1、2つの特徴を理解している。	1小節に8文字以内の言葉で、8小節中1~3小節構成されている。	8小節のうち1~3小節、和音のコード進行でつくられている。	表したいイメージはもっているが、それを曲の構成に用いてつくることができない。	作品に対する想いや意図を、音楽の構造や音楽の要素のどちらか一方のみ発表しているが、具体的な根拠が明確に示されていない。
D	コード進行、音のつながり方の特徴、反復、変化、対照の特徴を理解していない。	1小節8文字以内の言葉で、構成することができていない。	和音のコード進行でつくられていない。	表したいイメージをもつこと、曲の構成を用いてつくることができない。	作品に対する想いや意図を、音楽の構造や音楽の要素を用いて、発表することができない。もしくは、提案と根拠が合っていない。

(3) 指導と評価の計画 (3 時間計画)

時間	学習内容	【評価の観点】 評価規準《評価方法》	学習課題 (■) と主な学習活動 (○)		
1	ボーカロイド教育版の基本操作を学ぶ。 歌づくりの手順を学習する。	【主】 創作の学習活動の基本的な方法に取り組んでいる。 【知・技】 旋律や音楽を作るために必要な技能を身に付けている。《観察、ワークシート》	■ ボーカロイド教育版を使って歌づくりの基本を学ぼう。 ○ ボーカロイド教育版の操作方法を説明する。 ○ タブレットを配布して操作するように指導する。 ○ 短い言葉にメロディーをつけさせ、歌づくりの基本を体験させる。 ○ 歌づくりの手順について指導する。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
2	伴奏に合ったメロディーの作り方を学習し、8 小節の歌をつくる。	【知・技】 構成上の特徴について理解している。課題や条件に沿った技能を身に付ける。《観察、ワークシート、保存楽譜(データ)》	■ 歌詞にメロディーをつけて 8 小節の歌をつくろう ○ オリジナルの歌詞を考え、歌詞の言葉のリズムや抑揚を手がかりに、ボーカロイド教育版を使ってメロディーをつくらせる。 ○ 伴奏に合ったメロディーをつくる方法を説明し、伴奏データを選ばせる。 ○ 伴奏の構成音を手がかりに、伴奏に合ったメロディーをつくらせる。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
3	ブラッシュアップする。 つくった作品を発表し、評価し合う。 単元の学習を振り返る	【思】 ルーブリックの基準を満たした作品紹介ができている。 【主】 学習を振り返り、自分の成果と整理する《観察、ワークシート、保存楽譜(データ)》	■ つくった歌にみがきをかけて発表しよう ○ 歌にみがきをかける方法を説明し、第二時でつくったメロディーをブラッシュアップさせる。 ○ 完成した歌を発表させ、他の作品に対する感想をワークシートに記入させる。 ○ 自分の作品について振り返り、成果と今後の目標を整理する。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び

本時案 (1 / 3)





(1) 本時の目標

- ボーカロイド教育版を使って歌づくりの基本を学ぼう。【主】
- 旋律や音楽を作るために必要な技能を身に付けよう。【知・技】

(2) 本時の評価

	評価規準	十分満足できる (A)	努力を要する生徒への手立て (C)
「主体的に学習に取り組む態度」	ボーカロイド教育版を使って創作活動に関心をもち、創作の学習活動に取り組むことができる。【観察、ワークシート】	・タブレットで創作の基礎的な操作を主体的に取り組むことができる。 ・他者の活動や取組に興味や関心をもちながら取り組むことができる。	・操作を個別指導または周囲の生徒のアドバイスを受けさせる。 ・教師の質問や会話によって生徒の関心を引き出したり、具体的に提示したり手だてを行う。 ・他者の取り組み状況やよい所などを共有させる。
「知識・技能」	旋律や音楽を作るために必要な技能を身に付けることができる。【観察、ワークシート】	・音の配置、音色の音符、言葉のまとまりや配置、歌詞の入力、音声の変更など、創作に必要なことを身に付けることができる。	・操作を個別指導または周囲の生徒のアドバイスを受けさせる。 ・取り組む内容を限定することで、無理なく創作できるよう工夫する。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	*教師の支援 ◇留意点 ◎評価
導入	<p>○ポピュラー音楽、ボカロに関心をもつ。</p> <p>・生徒になじみの曲を聴かせ、ポピュラー音楽、ボカロイドの説明をする。</p> <p>○単元における学習課題を提示する。</p> 	<p>◇一人一台タブレットを用意する。</p> <p>*今まで学習した創作活動の振り返り、今回の題材に結びつける。</p>
	<p>○ループリックを提示する。</p> <p>～別頁参照～</p> <p>○本時の目標を知る。</p>	<p>*単元の課題を明確に伝える。</p> <p>*ループリックを意識して取り組むよう伝える。</p>
	ボカロイド教育版を使って歌づくりの基本を学ぼう。	
		<p>*本時ゴールの見通しをもたせる。</p>
展開	<p>○タブレットで曲を作るための基礎的な操作の練習を行う。</p> <p>・ソフトの立ち上げ ・ツールの使い方</p> <p>・音符の並べ方 ・言葉のまとまりや配置</p> <p>・歌詞の入力 ・音声の変更</p> <p>○テレビモニターに映す操作を参考に組み合わせる。</p> <p>○コードの和音付けの方法を行う。</p> <p>○取り組み状況を確認する。交流。</p> 	<p>◇教師の指示に従って操作するよう伝える。</p> <p>*操作の途中で、随時抽出して、できた音の配置や歌詞のついたメロディーなど紹介し、交流をはかる。</p> <p>*即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験を重視させる。</p> <p>◎旋律や音楽を作るために必要な技能を身に付けている。</p> <p>◎（技能習得過程や、学習全体の取り組みを総じて）創作活動に関心を持ち、学習活動に取り組んでいる。</p> <p>【観察、ワークシート】</p>
終末	<p>○歌づくりの手順を確認する。</p> <p>○ワークシートに自己評価をする。</p> <p>○次回の学習内容を確認する。</p> 	<p>*まとめをテレビモニターで表示する。</p> <p>*次回の学習に向けて、自分の操作の修正・改善点を確認するよう促す。</p>



興味や関心を高める



見通しを持つ



粘り強く取り組む



振り返って次へつなげる